

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	780-1416
平成18年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
平成19年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
事務事業名	水源の森林づくり事業					
予算上の事務事業名	水源の森林づくり事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	26110		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第6章 総合的、計画的な土地利用を進めます					
基本施策名	第1節 環境と調和し、地域の特色を生かした秩序ある土地利用の実現					
施策名	第1施策 自然環境との共生					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
神奈川県協力協約推進事業補助金交付要綱 相模原市水源の森林づくり協力協約推進事業補助金交付要綱						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	津久井町森林整備計画		森林法に基づき、森林の適正な施業を促進し、木材の安定供給や水源の涵養と産地災害の防止など、森林の持つ他面的な機能の確保を図ることを目的とする。			
計画年次	平成15年度	～	平成24年度			
4 事業形態の区分			対策	5 事業開始年度		平成9年度
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
水源の森林づくり事業を推進し、適正な森林の管理を森林所有者自ら実施している森林整備に要する費用に対し補助を行い、森林の保全と公益的機能の確保を図る。					1団地、1,000㎡以上の森林所有者	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
県要綱の規定に基づき、市と協力協約を締結し、森林整備を行った森林所有者に対し補助を行う。 補助率 整備費の80% 実施内容 申請(森林所有者) 16件、 整備見込面積 32ha						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
秦野市、伊勢原市、厚木、山北町、清川村などで実施されている。 県水源の森林づくり事業には、協力協約のほか、県において、水源分収林、整備協定などの事業が実施されている。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	24,749	30,278	30,278	
一般財源	0	0	0	5,742	5,742	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	24,749	24,536	24,536	
人件費の合計	0	0	8,050	8,050	8,050	
事業コスト合計	0	0	32,799	38,328	38,328	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	水源の森林づくり協力協約推進事業			対象名称 と単位	実績面積 ha	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	32,799	38,328	38,328	
対象数	0	0	32	30	40	
単位あたり経費(円)	0	0	1,024,969	1,277,600	958,200	
前年度比		0.00	0.00	1.25	0.75	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	協力協約面積 ha	指標式と指標の説明	実績面積÷整備目標（協約締結面積）×100＝整備率（％） 協力協約での森林整備の達成度を見る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	32.0		
目標	0.0	0.0	32.0	30.0	40.0
目標達成度（％）	0.0	0.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	対象面積に対する整備率	指標式と指標の説明	（津久井町整備面積÷森林総面積）÷（県整備面積÷県森林総面積）×100＝整備率の割合を県平均へ近づける		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	78.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	0.0	0.0	78.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		森林の荒廃化が進行する中で、水源地域にも指定されていることから、事業の必要性は多く、今後も事業推進を図る。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
事業実施を行う森林所有者の確保が必要なので、整備実施予定者の登録などのシステムづくりが必要である。 なお、H19から所有者負担分（整備費の20％）を市が負担し、事業の促進を図る。			事業推進を図るためには、実際に作業を行う林業従事者の不足が見込まれる。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			